

# ICT活用と農場HACCP取得を通じた効率的な乳肉複合経営

(鳥取県：有限会社 岸田牧場)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
○	○		○		農場HACCP 労働環境の改善

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：鳥取県東伯郡琴浦町
- ・代表者：代表取締役 田中 徳行
- ・飼養頭数：乳用牛約260頭、肉用牛（乳雄）約800頭
- ・雇用者数：15名（R4.2時点）（パート含む）
- ・HP等：<https://kishida-farm.jp/>



クラウド牛群管理システム

### <取組について>

- 概要
  - ・乳用牛260頭と肉用牛800頭を飼養する乳肉複合経営。
  - ・平成27年10月に西日本初となる農場HACCPを取得し、乳肉複合では全国初の取得。
  - ・乳用牛の管理はICT技術であるクラウド管理システムを活用し、飼料給餌は自動化。
  - ・家畜ふんは、おがくずと石灰を混合して堆肥化し、戻し堆肥として活用するとともに、地域のブロッコリーや、すいか生産農家など約300戸で活用。堆肥散布作業は岸田牧場で実施。
  - ・小麦の栽培を実施し、実は学校給食用に販売し、麦稈は肉用牛への飼料及び敷料として利用。
  - ・生産した生乳の一部は大山乳業に受委託製造して自社ブランド牛乳「牛乳便り」を製造し、自ら業務用販売を行うとともに、家庭用にも宅配販売。
- 成果
  - ・ICT技術の活用で、牛の発情動向や健康状況がスマートフォンを通じて職員全員が情報共有し飼養管理を効率化。
  - ・ICT技術や飼料給餌自動化、農場HACCPによる460の作業工程教科書化とその活用などを通じて業務の効率化を図り、職員の休日を定期的に確保（1か月で8日の休日体制）。
  - ・良質堆肥を生産し、散布作業を含め地域の耕種農家が活用することで、地域農業に貢献。
  - ・ブランド牛乳を自ら宅配することで、消費者に顔の見える酪農生産を実施。

